

## 「心のノート」 1月 講話「夢をもち前向きに生きよう」

自分自身の理想を見だし、実現に向けて積極的に生きようとする態度を養う。

【項目 1 - (4)】

皆さんは、総合の時間に職場訪問や職場体験学習に行き、少しは将来の職業について考えることが出来たのではないかと思います。先日保育園に皆さんの様子を見に行きました。その時、園長先生が「0歳児を抱っこしたときの顔はとても良かったですよ」とおっしゃいました。またある場所では「熱心に耳を傾けて聞いてくれて熱心に取り組んでますよ」とおっしゃっていました。とても嬉しく思いました。

この学習を通して、世の中にはいろいろな仕事があり、一つ一つの仕事にやりがいや誇りがあることを学んだものと思います。また、仕事の辛さや大変さ、見るのとやるのでは大違いと実感したことと思います。「元気がない」、「声が小さいしっかりせえ」と励まされた人もいたのではないかと思います。

今、将来の職業(夢)を聞かれて、「サッカーの選手」「小説家」「映画監督」「アナウンサー」「親父の跡を継いで大工」「保育士」「エンジニア」「建築家」「F1のレーサー」・・・とすぐに答えられる人ばかりではないと思います。正直なところ何も考えていないわけではないが、これといってなりたいものが見つからない人も多いのではないかと思います。

私は、小学校の時はプロ野球の選手、中学校の時は「七人の刑事」という番組を見て刑事にあこがれていました。高校の時は、弁護士又は先生(好きな野球が出来る)になりたいと思っていました。プロ野球の選手や弁護士にはなれませんでした。先生になって多くの生徒の皆さんとの出会いの中で楽しく生活できています。

世の中には、いろいろな仕事がありますが、どんな仕事に就いても自分なりのこだわりを持ち、その仕事の中で夢を持てる人は幸せだと思います。

「自分が本当に好きなものを見つけてください。見つかったらその大切なもののために努力しなさい。君たちは、努力したい何かを持っているはず。きっとそれは君たちの心のこもった立派な仕事になるでしょう。」(映画監督 黒澤 明)